

解答

- 問一 (1) 典型 (2) 仕業 (3) 会得 (4) 構図 (5) 温存
問二 (1) にな (2) きざ (3) し (4) た (5) なか
問三 (1) オ (2) カ (3) ウ (4) イ (5) ク
問四 (1) おやすみになりますか (2) めしあがつて
(3) いらっしやる（おいでになる／おこしになる）なども可
(4) おこし（おいで）も可
(5) おっしゃる

二

- 問一 (1) イ
(2) ① 自然保護 ② 農業 ③ 効率的 ④ 便利

問二

ウ

問三

- (1) ① 豊かな生き物の世界

- ② 悩みの種

問四

- (1) ア
(2) エ

問五

エ

問六

イ

問七

ウ

三

問一

イ

問二

イ

問三

ウ

問四

エ

問五

エ

問六

コンプレックス

問七

絵

問八

ア

問九

限界（「上限／限度」なども可）

問十

イ

問十一

お互い理解し合えた（九字）（「わかり合えた」（六字）も可）

問十二 自分を理解してくれる大和田の言葉がうれしく、続くおれの言葉に、これからはありのままの自分でいようと決めた前向きな気持ち。（六十字）

解説

問一

「矛盾」とは「二つのものが食い違っていてつじつまが合わないこと。」という意味です。――⑤直後の文章より、農業は自然と密着することによって成り立つというのに、作物以外の自然を排除しようとするものでもある、という相反する内容を読みとりましょう。

三

問九

「鉢」に植えられている植物は、その鉢の大きさ以上に根を張って大きくなることはできません。植物にとって「鉢」の大きさが自分の成長の「限界」なのです。「限界」の類義語として「上限」「限度」などといった解答でもいいでしょう。

問十

「庄司」は中学時代のいじめが原因で、自分の顔や名前に悩み、「おれ」や「大和田」に素顔を見せようとしませんでした。顔も名前も関係なく「庄司」のことを認めている「大和田」からすれば、「庄司」に素顔を見せてつき

合ってもらいたいだろうし、「おれ」も同じ気持ちだと考えられます。そんな三人が語り合い、「庄司」はありのままの自分をさらけ出していくことを決心したのです。三人の間にはもうわだかまりはありません。お互いが理解し合えた満足感を味わっているのです。

問士一 「庄司は黙った。」では、「大和田」のありのままの自分を認めてくれる言葉に喜びや安心を感じたものの、まだ今後どうするかを口にすることができない「庄司」の気持ちを読みとりましょう。それが「おれ」の具体的な言葉に勇気づけられて箱をもう使わない決心をし、「小さく頷いた」と考えられます。